

「今後の市全体のことを考えても非常に心配だ」「何かを進めていかなくはならない」「議論を進めなければならぬ」「その際はいろいろな人の話を聞いて進めてもらいたい」などの意見をいただいた。

◎白石市教育支援センター 条例

〔質疑〕「白石市子どもの心のケアハウス」と「教育支援センター」の違いは何か。

〔答弁〕本市の子どもの心のケアハウスは、平成28年度から不登校児童・生徒への支援事業として開始し、早い段階から教育支援センターのモデル的な形となっている。

今回、法にのっとり役割を明確化するもので、業務として大きく変わるところはなく、名称も引き続き「子どもの心のケアハウス」を使用する。

関係機関やスクールカウンセラーなどと、これまで以上に強固な関係をつくり、不登校児童・生徒、家庭への支援を行なっていきたいと考えている。

予算審査特別委員会

第88号議案・令和3年度白石市一般会計補正予算(第9号)から第90号議案・令和3年度白石市介護保険特別会計補正予算(第4号)までの計3議案について、定例会2日目(12月8日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・森建人、副委員長・佐藤龍彦)は、12月9日に審査を行い、すべての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和3年度白石市一般会計 補正予算(第9号)

総務費

〔質疑〕定住促進事業について、本市への定住者が増えているとのことだが、奨励金や補助金による効果はどのくらいあるのか。

〔答弁〕本市には、転入を促進した住宅建設関連事業者に対する「定住紹介奨励金」、転入者に対する「定住者補助金」、市内在住者に対する「市民住

宅取得補助金」の制度がある。

定住者補助金申請者向けのアンケート結果では、「補助金制度を定住先決定後に知った」という方が多いが、本市を選んだ理由に、「土地や家屋の価格が手頃である」との回答が非常に多く、補助金制度により負担も軽くなることから、本市を選んでいただいているものと考ええる。

衛生費

〔質疑〕仙南夜間初期急患センター運営経費の負担金に158万

3千円を計上しているが、本市の受診者はどのくらいか。

〔答弁〕令和元年度は、受診者総数1千218人のうち、本市の受診者は57人であったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えにより、受診者総数は492人に減少、そのうち本市の受診者は31人であった。

教育費

〔質疑〕福岡中学校校舎改修調査・設計委託料に630万円を計上しているが、内容を伺う。

〔答弁〕福岡中学校は、建築から43年が経過しており、外壁の剥落のほか、屋上のモルタル防水の劣化、教室の雨漏りが確認されていることから、全面的な改修に必要な施工内容の調査、確認のための費用を計上したものである。

◎令和3年度白石市国民健康 保険特別会計補正予算 (第3号)

〔質疑〕一般被保険者保険税還付金として300万円を計上して

いるが、内容を伺う。

〔答弁〕国民健康保険から社会保険に移行した方が、国民健康保険の資格喪失届出をしないと、医療保険の二重加入状態となり、それぞれの保険への重複課税が発生することとなる。

本市では、令和3年10月からオンライン資格確認等システムの本格運用が開始されたことに伴い、医療保険の資格重複、二重加入状態の方の把握が可能となったことから、今回、対象となる方に、資格喪失届出の提出について、勧奨通知を行なったところである。

この被保険者が、重複納付をしたことに係る国民健康保険税の合計の還付金として計上したものである。

〔質疑〕医療保険の二重加入者の件数と、一番古いものでどのくらいの期間となっているのか伺う。

〔答弁〕今回の資格喪失届出の勧奨通知の対象は74世帯、108人となっている。

一番古いケースとして、平成29年度加入分からが通知の対象となっている。